

SDGsに関連するCSR重要課題 (マテリアリティ) と高田の取り組みについて



項目	SDGs目標	CSR重要課題 (マテリアリティ)	主要なテーマ	活動概要
品質 安定供給	9 産業と経済発展の 基盤をつくらう	・医薬品の品質確保及び安定供給	●品質を最優先する体制 ●安定供給体制	<ul style="list-style-type: none"> 品質管理の徹底 「安心と信頼への約束」に基づく品質の追求 安定確保医薬品の供給 新たな領域の医薬品の提供 医薬品情報の適切な提供と収集 生産能力増強 生産体制最適化
				<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンスの徹底 業機法およびGMP省令等の遵守 リスク管理の推進 内部統制の整備 ガバナンス強化 贈収賄・腐敗行為の防止 BCMの推進
公正 堅実	12 つくる責任 つかう責任	・法令遵守 ・公正・誠実な事業活動	●コンプライアンス・ガバナンス・リスクマネジメントの強化 ●腐敗防止	<ul style="list-style-type: none"> 環境、健康、安全に関する方針掲載 サステナブル調達方針の策定 サステナブル調達ガイドライン、アクションプラン作成
				<ul style="list-style-type: none"> サステナブル調達の推進
健康 福祉	3 すべての人に 健康と福祉を	・健康寿命の延伸 ・社会貢献活動 ・子供達への支援	●医療費削減、患者負担軽減への取り組み ●ジェネリック医薬品の普及への取り組み ●社会貢献活動	<ul style="list-style-type: none"> 低価格で高品質なジェネリック医薬品の供給 ジェネリック医薬品新規薬価収載件数の推移 ジェネリック医薬品の供給による医療費削減効果 多様なパートナーシップの活性化 おくすり教室等
				<ul style="list-style-type: none"> ジェネリック医薬品新規薬価収載件数 ジェネリック医薬品の供給による医療費削減効果 社会貢献活動取り組み件数
人財	10 人や国の不平等をなくそう	・多様な従業員が働きやすい職場環境改善・整備の推進	●従業員の能力最大化と安心して働ける環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> 働き方改革 育児支援制度 有給休暇制度 病気療養者の支援制度 時間外労働の是正 有給休暇の取得促進
				<ul style="list-style-type: none"> ダイバーシティ&インクルージョン ダイバーシティ (多様性) の推進 女性活躍推進 障害者雇用 シニア層の活用
				<ul style="list-style-type: none"> 人材育成 タレントマネジメントによる戦略的人員配置と人材育成の推進
				<ul style="list-style-type: none"> 健康経営の推進 健康管理の取り組み (健康診断の実施、ストレスチェック検査等) 健康増進の取り組み 禁煙推奨活動
環境	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	・環境保全への対応	●気候変動への対応 ●廃棄物に関する管理活動の推進 ●水に関する取り組み、環境に関する啓蒙活動	<ul style="list-style-type: none"> CO₂排出量削減策の推進 エネルギー使用量削減策の推進 社有車のHV車等エコカーへの切り替え 廃棄物発生量の抑制 再資源化の推進 水に関する取り組み 環境に関する啓蒙活動
				<ul style="list-style-type: none"> 省エネ機器への更新 CO₂排出量 Scope1、2の合計：2030年度のCO₂排出量を2018年度比48.8%削減 Scope1：2018年度比49.6%削減 Scope2：2018年度比48.2%削減 産業廃棄物の最終処分量について、2025年度に2000年度実績比75%程度削減 2025年度廃棄物再資源化率を60%以上に上げる 2030年度の廃プラスチック再資源化率を65%以上に上げる 環境に関する啓蒙活動年10回開催

KPI	活動実績 (~2023年3月)	掲載ページ	目標
・品質も供給も安心いただける医薬品の提供	<ul style="list-style-type: none"> 製造販売承認書と製造実態との齟齬チェック・対策の完遂 生産能力増強 (北埼玉工場2号棟竣工 (2023年7月)) 生産体制最適化 サプライマネジメント本部立ち上げ (2022年10月) 安定供給プロジェクトによる安定供給体制の構築と強化 	14 17	<ul style="list-style-type: none"> 生産能力増強 (高薬理活性製剤への注力など) 生産体制最適化 (安定供給体制の構築と強化)
・Quality Cultureの醸成	<ul style="list-style-type: none"> 高田製薬のガバナンス強化 リスクマネジメント・コンプライアンスの推進 月2回のコンプライアンスミニ研修の実施 (e-ラーニング) 重要テーマを絞ったコンプライアンス研修の実施 (5回) 「企業活動と医療機関等の関係の透明性に関する指針」の遵守 (医療機関等に対する資金提供内容の公開) BCM教育の実施 (全従業員対象、全7回のe-ラーニング教育) 防災への取り組み 	18 21	<ul style="list-style-type: none"> 高田製薬のガバナンス強化：リスクマネジメント・コンプライアンス推進の強化 コンプライアンス研修の実施 従業員の腐敗防止意識の向上 BCM教育、模擬訓練の実施 BCM推進
<ul style="list-style-type: none"> サステナブル調達ガイドラインの策定 サステナブル調達アクションプランの作成 サプライヤー調査 	<ul style="list-style-type: none"> 方針・ガイドラインの策定に向けた今後の活動計画を策定中 お取引先 (医薬品メーカー) からのサステナブル調達への協力要請への対応 サステナブル調達、CSR等に関する面談実施 (2社) 取引先の設備等見学 サプライヤーアンケート準備 	21 22	<ul style="list-style-type: none"> 購買理念、購買基本方針の策定完了 サステナブル調達「ガイドライン」の策定完了 サステナブル調達に関するアクションプランの作成・運用 サプライチェーン管理の推進 サプライチェーン調査実施
<ul style="list-style-type: none"> ジェネリック医薬品新規薬価収載件数 ジェネリック医薬品の供給による医療費削減効果 社会貢献活動取り組み件数 	<ul style="list-style-type: none"> ジェネリック医薬品新規薬価収載件数： 2021年 6月期 1成分2規格 2021年12月期 2成分4規格 2022年12月期 1成分2規格 2023年 6月期 1成分2規格 ジェネリック医薬品の供給による医療費削減効果 (出荷ベース)： 約248.4億円 ジェネリック医薬品に関する説明・お薬の基礎知識のHP掲載 日本経済新聞への「健やか豆知識」の掲載 関係団体主催の研修会の協力、工場見学の開催記事掲載 おくすり教室 (工場見学、お薬の飲み方4動画公開) 寄付型自動販売機 対象商品購入総数762本 (2021年10月~2022年10月) 認定NPO法人発達わんぱく会へシール、折り紙の寄贈 やすらーじゅ広場子ども食堂への参画 事業所周辺の学校の交通安全運動、学校行事・資源回収への協力 	23 25	<ul style="list-style-type: none"> ジェネリック医薬品の薬価収載件数：着実な件数増加 ジェネリック医薬品の供給による医療費削減：継続的な実現 関係団体の研修会や工場見学への協力 社会貢献活動年3回以上実施
<ul style="list-style-type: none"> 男性の育児休業制度利用者数 「子育てサポート企業」として厚生労働省「くるみん」の認定の取得 1人当たりの従業員の平均残業時間 有給取得率 	<ul style="list-style-type: none"> 女性の育児休業制度の利用者数22人 (利用率100%) 男性の育児休業制度の利用者数7人 (2021年10月~2022年9月) 1人当たりの従業員の平均残業時間 22.1時間 (2021年10月~2022年9月) 有給休暇平均取得率 73.6%※2021年12月~2022年11月 ワーク・ライフ・バランスの向上施策の実施 有給休暇の時間単位付与制度の導入・育児短時間勤務制度および子の看護休暇を小学3年生までの子をもつ従業員まで拡大・テレワーク勤務制度導入 埼玉県「多様な働き方実践企業」のプラチナ (最上位) 認定 認定日：2021年2月1日 	26 27	<ul style="list-style-type: none"> 男性の育児休業制度利用者数 5人 (2023年9月まで) 「子育てサポート企業」として厚生労働省「くるみん」の認定の取得 有給休暇平均取得率 80%達成 (2025年11月まで)
<ul style="list-style-type: none"> 女性管理職比率 障害者雇用率 シニア層の活用に向けたアクションプランの策定 (2023年9月まで) 	<ul style="list-style-type: none"> 女性管理職比率 9.9% (2021年10月~2022年9月) 障害者雇用率 2.37% (2022年9月) 厚生労働省「えるぼし」3段階目 (3つ星) 認定 認定日：2021年8月23日 	27	<ul style="list-style-type: none"> 女性管理職比率 12% (2025年9月まで) 障害者雇用率 2.5%維持 障害者の適材適所で活躍推進
<ul style="list-style-type: none"> 健康診断受診率 ストレスチェック受検率 健康優良企業step1 金の認定更新 健康増進の取り組み 禁煙率 	<ul style="list-style-type: none"> 自己啓発の促進策を実施 (e-learning教材の充実 タレントマネジメントシステムの基盤整備を推進) 人事制度、目標管理制度の改善を実施 健康診断受診率 (2021年4月1日~2022年3月31日) 100.0% ストレスチェック受検率 (2022年7月) 90.8% 健康優良企業step1 金の認定更新 認定日2020年11月1日 健康管理・健康増進の取り組み 喫煙率 (2022年度喫煙率：13.8%) 	28 29	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断受診率 100% ストレスチェック受検率 100% 健康優良企業step2 金の認定取得への取り組み 喫煙率 10%以下 (2025年度目標、2030年度目標は喫煙者ゼロ) 2022年10月喫煙所廃止、敷地内全面禁煙
<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス教育活動実施 	30	<ul style="list-style-type: none"> ステークホルダーへ人権が尊重されるような取り組みの強化 従業員の人権意識の向上
<ul style="list-style-type: none"> Scope1、2に関連するエネルギー使用量 CO₂排出量 ハイブリッド (HV) 車導入率 廃棄物発生量 最終処分率 再資源化率 エコキャップ運動寄付状況 上水使用量 環境に関する啓蒙活動 	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ機器への更新 (照明のLED化、太陽光発電システム) 等 本社・工場使用電力へ再生可能エネルギー由来電力の導入 GHG排出量算定システム導入 SBTを基に算出したCO₂排出量削減の独自目標策定 社有車のHV車等のエコカーへの切り替え 3R実施 (エコキャップ運動への参加等) 一般社団法人ヒートポンプ・蓄熱センターからの感謝状受贈 環境に関する啓蒙活動 (e-ラーニング：3回 セミナー：5回) (2023年6月現在) 	31 34	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ機器への更新 CO₂排出量 Scope1、2の合計：2030年度のCO₂排出量を2018年度比48.8%削減 Scope1：2018年度比49.6%削減 Scope2：2018年度比48.2%削減 産業廃棄物の最終処分量について、2025年度に2000年度実績比75%程度削減 2025年度廃棄物再資源化率を60%以上に上げる 2030年度の廃プラスチック再資源化率を65%以上に上げる 環境に関する啓蒙活動年10回開催